

講義名	対1)消費文化論			授業形態	
担当教員	森脇 丈子	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

資本主義の発展は、私たちに「豊か」で「便利」な生活をもたらしました。ものを所有するだけの「豊かさ」を超えて、余暇の有意義な使い方や精神的なゆとりを持ち、現代の「豊かさ」とは何かがいつた道に高い関心が寄せられています。

その一方で、便利なのは価格が多すぎることで疲れてしまう人がいたり、生活が便利になりすぎることに関心を感じる人がいたり、環境破壊に関する国際的議論が活発になったりもしています。

この授業では、現代の消費様式や生活の仕方や文化がどのように形成されてきたかについて学びます。さらに、私たちの生活のあり方の特徴ならびに問題点や課題がどこにあるかを理解しながら、生活の「豊かさ」や「便利さ」とは何かについて考えていきます。

到達目標

1. 消費社会の基礎である大量生産・大量消費・大量廃棄の仕組みが理解できるようになる。
2. 社会の発展のなかで、消費文化がどのようにみ出されるかについて理解できるようになる。
3. 「便利な生活」がもたらす正と負の側面について考え、理解できるようになる。
4. 「賢い消費者」とは何かについて考え、理解できるようになる。

提出課題

受講登録者が多数(概ね80名超)の場合には、「小テスト」を実施します。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

授業開始時に、前回授業に関連して出された質問にコメントをします。

評価の基準

1. 「授業中の発言・態度」…点数 = 30点(2点 x 15回)
 2. 「課題」の欄に記入の通り、受講登録者が多数の場合には、小テストを実施する場合があります。この場合、点数配分が変わることがあります。授業中の説明をよく聞いて対応してください。感染症予防に努めてください。マスクの未着用、マスクをきちんと着用していない人等には、退室してもらいます。
 2. 定期試験…点数 = 70点
- 「授業中の発言・態度」の30点と定期試験の70点の合計点で、評価をします。合計60点以上が、合格です。59点以下は、不合格です。

履修にあたっての注意・助言他

- ・新聞・ニュース・雑誌等で社会の出来事や消費者に関連する問題などについて、情報を日々収集しておいてください。
- ・第1回目の授業に必ず出席し、授業の進め方、課題の提出方法、評価基準をしっかりと理解したうえで、受講してください。
- ・授業では必ずマスクを身につけてください(PPT等のスライドによる撮影は禁止します)。

関連科目として、「消費者問題論」、「アムニズメント事業論」、「生活構造論」、「NPO論」、「経済学入門」の受講を勧めます。

コロナ感染状況によっては、オンデマンド式の授業形態に変更する(シラバスの変更を含む)場合があります。大学からの連絡を常にチェックしておいてください。

教科書

・「使用しない」.					
-----------	--	--	--	--	--

参考図書

・パンデミックの文明論。	ヤマザキマリ・中野信子	文藝春秋	680	9784166612765
・50 (フィフティ) : いまの経済をつくったモノ。	ティムハーフォード	日本経済新聞出版社	1980	9784532176440
・大正文化 帝国のユートピア。	竹村民郎	三元社	3080	978488301337

その他

- ・山田登世子『賢訳の条件』2009年、岩波新書。
- ・伏木孝『人間は誰で食べている』、2005年、ちくま新書。
- ・藤原辰史(2018)『給食の歴史』、岩波新書
- ・石弘之『感染症の世界史』、KADOKAWA
- ・長田華子(2016)『990円のシューズがつくられるのはなぜ?』、合同出版

その他の参考文献は、授業中に適宜紹介します。

授業計画

1. 授業の内容紹介と授業の進め方について、経済の発展と「消費社会」の変化について考える
2. 資本主義の発展とその基礎
3. 資本主義の発展と生活の「豊かさ」
4. 小売業の発達と生活様式の変化：19世紀のアメリカ社会を例に
5. 小売業の発達と生活様式の変化：20世紀のアメリカ社会を例に
6. 経済と公共事業
7. 大衆生活と「豊かさ」-人々の生活と意識の変化
8. 世界初の百貨店ボン・マルシェの登場(1)：売り方の改革、消費者層の広がり
9. 世界初の百貨店ボン・マルシェの登場(2)：社員教育
10. 日本の百貨店の登場と消費層層の広がり
11. 大正時代の経済発展と消費文化(1)-神戸の経済
12. 大正時代の経済発展と消費文化(2)-洋式の生活
13. 日本における戦後の生活の変遷(1)：農村部から都市型社会へ、生活の「豊かさ」、余暇社会
14. 日本における戦後の生活の変遷(2)：消費の多様化
15. 大量商業システムと環境問題、定期試験について

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業終了時に、予習について説明します。次回の授業内容に関連する基礎的な語句や情報を調べる等の予習を、授業開始時までに済ませておいてください(作業時間：2時間程度)。

その日の授業で扱った内容は、次の授業の理解の基盤になります。また、課題で合格点をとるために必要な知識となります。授業で使用したプリントを用いて、基礎的な内容の復習をしてください。また、配布した新聞記事などを利用して、具体的事例で授業内容をより深く理解できるように努め、ノートに要点をまとめておいてください。(作業時間：2時間程度)。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。社会の問題や入り目の考え方を考えることができ、社会貢献・産学連携、インターンシップなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身に付け、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創造することができる。

人間の精神機能と心理学の研究法に関する基礎的知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

対面の授業中に多くの質問を出します。受講者は、自分の意見を述べてください。

実務経験の有無及び活用

備考

感染症予防に努めてください。マスクの着用のない人、きちんとマスクを着用していない人等には、退室してもらいます。

第1回目の授業に必ず出席し、授業方法、成績評価方法について、しっかりと理解してください。

授業では必ずマスクを身につけて、理解を深めてください(スマホによるPPT等の撮影は禁止します)。

授業中の私語や教員への勝手な出入りを禁止します。スマホは教員の指示がある場合に使用してください。

授業態度の悪い人には、退室を求めることがあります。

新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性があります。大学からの連絡をしっかりとチェックしてください。